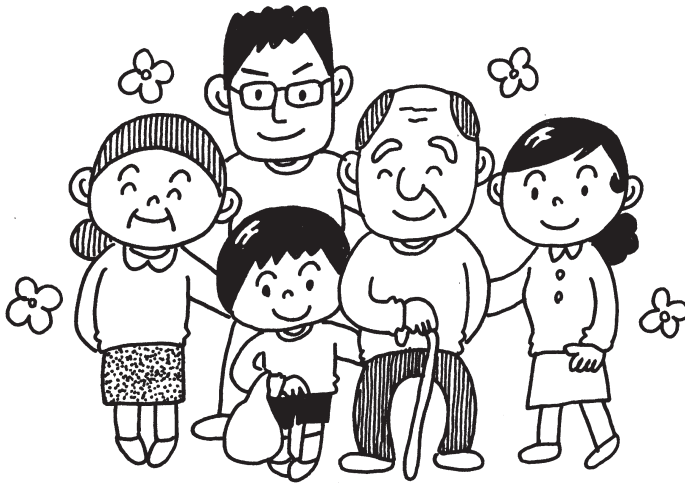


なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



あみださまの国って
どんなところ？

阿弥陀さまの国をお浄土と言います。

「地獄と極楽（お浄土）」という話があります。実はお浄土も地獄も環境は全く同じでした。地獄にもお浄土にもすばらしいご馳走が並んでいます。しかし地獄は、そのご馳走を食べることができません。実は持っているお箸が3尺（約1m）もあり、ご馳走をつまんでもお箸が長すぎて自分の口に入らずポロポロ下に落ちてしまいます。挙句の果てには、お互いにぶつかって「お前にぶつかったせいで食べれなかった」と互いに人のせいにして胸ぐらをつかんで、ののしりあっています。

一方、お浄土に行ってみると、ご馳走もお箸の大きさも地獄と全く同じですが、お浄土の住人は長い箸でつまんだご馳走を自分の口に入れなくて、自分の向かい側にいる人に、お互いに食べさせあって、皆が満足感と喜びに満たされ、幸せを感じながら笑顔で楽しい食事の時間を過ごしています。つまり、与えられていた長いお箸は、決して自分のために使うお箸ではなかったのです。

相手のために自分が仕え与えることによって、相手もまた自分を助け与えてくれる。お浄土とは、「あなたからお先にどうぞ」が自然に行われていて、“ありがとう”のお互いに感謝の気持ちを忘れない世界なのです。

私たちの人生でもたくさんの幸せの機会に出会います。そのどれ一つ、自分一人では得ることはできません。誰かに支えられ、助け合っていることに気づいて、はじめて「幸せに出会うことができる」と感じる事ができるのです。お浄土を通して、私たちはお互いに助け合い、思いやり、支え合って、感謝する心の大切さを教えてもらうのです。